

ふりがな 氏 名	たきひ しの <b>瀧日 滋野</b>	職 名	講 師
取 得 学 位	博士(教育学)	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	家庭科教育法、教育実習、保育学		
所 属 学 会	日本家政学会、日本家庭科教育学会、日本青年心理学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
相談と援助の理解を深めるため、ワークシートと対話を導入した授業を実施(名古屋女子大学短期大学部)	平成 27 年4月 ～令和元年 9 月	個人を取り巻く環境の可視化や相手のストレンクス分析、対話の進め方など1対1の活動、事例分析について知的構成型ジグソー法を用いて他者の意見をグループでまとめ、構築していく活動など取り入れた。これらの活動を、授業者が作成したワークシートにまとめさせファイリングし、実践力、対話力、文章力を総合的に身につけるよう促した。
絵本分析と自己分析を導入した福祉追及の授業を実施(名古屋女子大学短期大学部)	平成 27 年9月 ～平成 31 年3 月	子どもをケアする立場となる学生を対象としているため、絵本を題材に自己分析を行い、インクルーシブ教育の視点も導入した「福祉＝すべての人の幸せの実現」について理解を深めるため、発表・その討論を行い、質疑応答の場を発表者自身で取りまとめることを試みた。
高等学校家庭科においてアクティブラーニングを導入した授業の実施(名古屋市立菊里高等学校)	平成 28 年～令 和 3 年 3 月	人間生活の基盤となる家庭科の家族・食・衣・住・消費生活について、持続可能な社会というマクロな視点と自立というミクロな視点を持ち授業を展開している。どの分野でも、アクティブラーニングを取り入れ、得た知識から自分の意見展開させることを促している。また、日常生活における経験の減少を補うべく、実習・ホームプロジェクトにおいて課題解決型の授業展開を行い、自主性を大切にしながら実施した。
家族心理の多様性に対する理解を深めるため、対話を活用した授業を実施(金城学院大学)	令和元年9月	受講者数の多い講義であるが、授業外での調べ学習を活用したグループワークを取り入れ、家族の多様性を知る機会や話すこと・聴くことを実践する場としている。学生の意見・質問をフィードバックすることから授業を展開し、講義が一方向的にならないようにしている。講義内容に関連するデータや解説・事例など配布資料はweb上で公開した。
子どもの家庭支援の心理学 学文社 ISBN:978-4-7620-3122-9	令和4年3月	編者:中山智哉、加藤孝士 著者:村上涼、横嶋敬行、加藤孝士、朴信永、姫田知子、金山美和子、 <u>瀧日滋野</u> 、小山頭、中山智哉、村上太郎、姫島源太郎 担当:全109ページ中、第3章第2節 ライフコースと仕事・子育て(pp.94-108)の15ページを執筆。 本書は、子ども家庭支援に必要な専門性の基礎とな

事 項	実 施 年月(日)	概 要
		る知識や技能を身に付けることを目的とした書籍である。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論文	幼児の母親の就労形態別にみた調理実践の現状(査読付)	共	平成 29 年 11 月	日本家政学会誌 第 68 巻 第 11 号	阪野朋子、 <u>瀧日滋野</u> p.575-587
	高等学校家庭科における持続可能な献立作成の指導に関する一考察—汁三菜と一汁一菜の献立作成の比較—	単	平成 30 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第 64 号	p.27-37
	高等学校家庭科の調理実習における問題解決型事前学習・食材マップ作成の効果の検討—調理技能との関連性について—(査読付)	単	令和 2 年 3 月	金城学院大学消費生活 科学研究所紀要 第 24 巻第 1 号	p.1-12
	一汁一菜の献立に関する栄養学的分析と持続可能な食生活へのアプローチ	共	令和 2 年 5 月	名古屋女子大学 総合 科学研究所 第 14 号	阪野朋子、 <u>瀧日滋野</u> p.121-128
学会発表	一汁三菜と一汁一菜の献立内容の比較からみた高等学校家庭科における一汁一菜を用いた献立作成の検討	共	平成 30 年 9 月	日本家政学会中部支部 第 63 回大会(名古屋文 理大学)	<u>瀧日滋野</u> 、阪野朋子 発表要旨集 p.34 (口頭発表)
	調理実習における問題解決型事前学習の検討	単	令和元年 6 月	日本家庭科教育学会第 62 回大会(金城学院大 学)	発表要旨集 p.132-133
	高校生の調理技術の現状—子育て世代の女性との比較—	共	令和元年 7 月	日本調理科学会東海・北 陸支部 2019 年度講演 会・第 15 回研究発表会 (名古屋女子大学)	阪野朋子、 <u>瀧日滋野</u> 発表要旨集 p.8
	主婦が調理した一汁一菜と高校生が考えた一汁一菜の比較	共	令和元年 9 月	日本家政学会中部支部 第 64 回大会(岐阜大学 サテライトキャンパス)	<u>瀧日滋野</u> 、阪野朋子 研究発表要旨集 p.28 (口頭発表)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	一汁一菜献立の実用可能性につ いての実践研究	共	令和3年6 月	日本食育学会第9回総 会・学術大会 発表要旨集(東京農業大 学 厚木キャンパス)	阪野朋子、 <u>瀧日滋野</u> 研究発表要旨集 p.32 (ポスター発表)
	高等学校家庭基礎における「子育 て環境を考える」新聞1分間テキパ キプレゼンの実践	単	令和3年7 月	日本家庭科教育学会第 64回大会研究発表要旨 集(オンライン開催)	発表要旨集p.17 (口頭発表)
その 他	一汁一菜の献立に関する栄養学 的分析と持続可能な食生活へのア プローチ	共	令和元年5 月	名古屋女子大学 総合 科学研究第13号	阪野朋子、 <u>瀧日滋野</u> pp.102-104